



2018年10月30日

各位

会社名 蛇の目ミシン工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大場 道夫
 (コード: 6445 東証第一部)
 問合せ先 経理部長 小林 裕幸
 (TEL 042-661-3071)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2018年5月11日に公表した2019年3月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	20,000	1,000	950	650	33円62銭
今回修正予想 (B)	19,000	450	650	350	18円11銭
増減額 (B-A)	△1,000	△550	△300	△300	—
増減率 (%)	△5.0%	△55.0%	△31.6%	△46.2%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	20,258	934	1,103	733	37円93銭

2. 2019年3月期通期の連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	42,000	2,500	2,400	1,600	82円77銭
今回修正予想 (B)	41,000	1,800	1,800	1,100	56円90銭
増減額 (B-A)	△1,000	△700	△600	△500	—
増減率 (%)	△2.4%	△28.0%	△25.0%	△31.3%	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	40,778	2,075	2,110	1,391	71円98銭

3. 修正の理由

当第2四半期累計期間におきましては、産業機器事業においては、市場動向を的確に捉え、需要喚起に努めたことから、卓上ロボット・エレクトロプレスの販売は共に高水準を維持いたしました。一方、家庭用機器事業では、家庭用ミシンの重要市場の一つと位置付けている欧米市場の回復が想定よりも進まず、売上高が期初の予想を下回る見込みとなりました。

また、生産拠点であるタイの現地通貨が円やドルに対し依然として高止まりで推移していたことなどが原価の押し上げ要因となり、利益面においても期初の予想を下回る見込みとなりました。

通期につきましては、産業機器事業においては、第3四半期以降も引き続き堅調な推移を見込んでおります。家庭用機器事業では、低迷を続けていた欧米市場に下げ止まり感が出ており、一部には回復の動きが見られることから、第3四半期以降の復調を見込んでおります。このほか、第2四半期後半に新たに投入した新製品も本格的に動き始め、業績回復に寄与するものと考えております。

これらの状況から、2019年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、配当予想につきましては、現時点では当初の見通しを据え置いております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表当日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上